

「言い足りなかったこと」 牧師 立石尚志

補習校の父母会会長に・・・

●もう何年も前のことになるが、子供が通っている日本語補習授業校の父母会の会長をすることになった。新年度に向けての準備を着々と進めておられた次期会長が突然の転勤でできなくなり、2月末頃私の所に話しが来たのである。私自身NY補習校、LA補習校に通算5年間在籍していたこともあり補習校の受益者である。わが家の子供たちも既に何年かお世話になっており、与えられた機会を感謝して妻と二人で引き受けることにした。

●さっそくの仕事が、新年度に当たっての父兄宛に配布する挨拶文を起草すること、また入学・入園式での挨拶をすることであった。ご存知の方も多いかと思うが、補習校は国数の勉強の傍ら、日本の学校環境を再現し、日本の「歳時記」を心に植えつけることを目指しているの、図書貸し出しや行事などの仕事が多い。これらを動かすのが父母会であるため、入学条件には父母会の働きを積極的に支えることが含まれている。私の務めはこの大変な仕事にあたる父母たちの志気を高め、応援旗振りをすることであり、その目的のために挨拶文を書いたのである。右はその抜粋である。(裏面に続く)

神さまに変えられて 証し 2010年3月 S. N. 姉

●私は台北で生まれ、台北で育ちました。故郷で過ごした時間はごく短く、20数年程でした。後に東京で10年程住み、そして1974年に4人の子供たちをつれてアメリカの主人と共に Los Angeles, Hartford, Westport と転々と移り住みました。最初の二年間は大学で勉強をし、学位を得た後、AMAX という会社で25年間勤め、主人の死後も職業婦人と Single Mother として活躍しました。

●私と神さまの出会い、9年前です。弟の紹介で近藤先生のもとに導かれて、洗礼を受けました。私のこの9年間の人生は起伏の激しい山あり谷ありの人生でした。神さまは私に限りない恵みと合をお与えになりました。それと同時に長い期間の試練もお与えになりました。第一コリント 10:13 にあるように、あなたの方の会った試練はみな人の知らないようなものではありません。神は真実な方ですから、あなた方を耐えることのできないような試練に合わせるようなことはなさいません。むしろ耐えることができるように試練とともに脱出の道も備えてくださいます。

●最近もこのような試練がありました。去年の一月ごろ、私は突然アレルギー一症にかかり、つまり薬疹というもので体が香に咬まれたように赤い斑点が現れ、昼も夜も痒くてたまりません、そして夜はおちおち眠られませんでした。そのアレルギー一症が喉まで来て、ゴホンゴホンと咳をし、その咳が三ヶ月続きました。周囲の人たちは私を悪性感冒だと思い込み、私から遠ざかって行きました。私は毎日がつらくて、すっかり落ち込みま

した。夜の祈りの時、私は必死で神さまに「どうか私に健康をお与えください、私にはまだ神さまに奉仕をしなければならぬことが沢山残されています。私はすべてをあなただけにゆだねます。」そして聖句のピリピ 4:6 を唱えました。何も思い煩わないであらゆる場合に感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたの願い事を神に知っていただきなさい。その祈りを毎日繰り返している中に不思議とだんだん心が静まり、何とも言えないやすらかな気持ちになりました。だんだんと体が痒みに慣れ、それ程苦にならなくなりました。それにつれて赤かった斑疹も徐々に消え、最近医者にも見せると後一息、あなたは90%なおっています。ハレルヤ。神さま、ありがとうございます。この一年間は非常に長かった。いやすにも時がある。伝道者の書 3:2. 私は忍耐強く完全に治るのを待っています。

●受洗後、何が私を一番変えたかと言いますと、私の毎日が感謝に満ち足りた気持ちで生活できるようになり、私が自分の自己中心を恥じるようになり、誇り高ぶっていた自尊心がだんだんと消え失せ、他人の優れた点をよりはっきりと見

父母会挨拶文

200X年4月1日

拝啓

この度はお子様の〇〇校へのご入園、ご入学、進級、おめでとうございます。ここニューヨークは～～～

(中略)

教育の本質が「親が子に生き方を伝える」ことであるとすれば、海外にある補習授業校はその本質を鮮やかに体現しているところと言っても過言ではありません。世界中に散っている多くの補習授業校では今でも必要に駆られた「親たち」がボランティアで教えているということをご存知でしょうか。〇〇校は今では文部科学省から校長先生、教頭先生を派遣していただき、また「教科と指導」は専門の先生方にお任せできる世界最大規模の補習校となりましたが、その誕生までかかればこの補習校も「駐在の親たちの責任感」から生まれた学校であり、今日に至るまで父母会が学校を支えて来ています。

積極的に考えていくなれば、父母会活動は親たちが背中でする大切な教育の機会とも言えるでしょう。クラスメートのお父さん、お母さんたちが率先して様々な行事を仕切り、クラス委員や図書委員の仕事を担当しているのを見て子供たちは知らず知らずのうちに多くのことを学んで行きます。困難があっても親たちがお互いに笑顔で協力して事に当たるのを見ることは「仲良くしなさい」の一言よりもはるかに深く子供たちの心に「協力の意義」を刻んで行くのではないのでしょうか。忙しさの中にあっても喜んで他の人に仕えていく雰囲気の中で子供たちが育っていくなら、彼らは必ず人のため、社会のために役立つ人として成長していくと信じます。

ゆえに、異文化の中で複眼的な視点を養われ、親たちの模範を実際に見ながら成長して行ける補習授業校のような環境こそ、明日の日本、そして日本のみならず世界の真のリーダーたちを育てることのできる絶好の場であると信じています。そのような素晴らしい環境にお子さまをお入れになったことに是非、確信をお持ちください。～～～

(中略)

NY補習授業校そのものがそもそも、今日の日本を築くために、海外に勇敢に挑んだ私たちの親たちの世代によって自発的に始められたこと・・・自分の子どもたちを日本人として育てたいという「親の熱い思い」を原点にしているということをお知らせしていただき、是非そのバトンを受け継ぐ決意をしていただけたら幸いです。

敬具

いさせる事ができました。そして人を絶対に裁かないようになりました。何事に対しても我慢強く耐えるようになり、神さまがいつも私の傍にいて私を見守り、導き、私を愛してくださる事を覚え、感謝と祈りと愛とをもって神さまに仕えていきたいと思えます。■



(p1からの続き)

言いたかったこと

●子供たちは親の背中を見て学ぶ。生き様というものは親から子供へ伝えられていくものであり、子供は親が普段から口にしていくこと、行動の基準にしていく「世界観・価値観」を自分のものとして取り入れていくものである。だから、もし子供によい対人技術や協調性を身に付けさせたいなら、自らその姿を見せていくこと以上によい教育方法はないということになる。

●現代は「今」を快適に生きられさえすればいいという考えが横行し、個人の権利や要求ばかり強くなって公共心が無くなってきている。親たちも容易に自分中心的な生き方に流されていく。日本から伝えられてくる「モンスター・ペアレント」の実態には身が凍るものがあるが、そのような中、補習校では子供たちが親達の「良い背中」をかなり間近で見ることができ、すばらしいと思った。会長をさせていただいた一年、熱心でありながら謙遜なK教頭、N校長のサポートはじめ、有能な副会長、運営委員たちに恵まれ、先生方との関係も保たれ、実に充実した楽しい時を過ごすことができた。

言い足りなかったこと

●しかしである。私は、本当は言い足りなかったことがあったのだ。それは何かというと親自身も目標にし、学ぶべき後ろ姿を必要としている、ということである。私が会長を務めた一年は確かに大きな事件も無く平安に過ごすことができたが、以前、大変な苦労があったということも聞いている。父母会のような組織で人間関係のバランスが崩れ、難しい状況が生じてしまうというのは巷にいくらでもある話であり、苦労した人から「ラッキーだったのよ」「たまたまよ」と言われても弁解できない。難しい状況だったなら会長職を全うできたかどうか…。

●一般的に問題が難しくなった時、人は先ずリーダーに目を向ける。世には優れたリーダーもいるものだ。リーダーが知恵と勇気をもって行動し、正直を貫き、悪に屈せず、人を裁かず人の弱さや過ちを覆い補う努力をし、率先して犠牲を払っていく姿を見せることができるなら、ついて行く者たちは必ずその模範から学ぶのではないかと思う。若い頃に伝記や偉人伝を沢山読むのが大切なのはこのためだ。しかし逆に責任逃れ、責任転嫁、嘘／ごまかし、自己主張、聞く耳持たず、頑なさというような

姿をリーダーが見せたならどうであろうか。会社や自治体、家族などの悪い体質はリーダーから蔓延していく。良きにつけ、悪きにつけ人は人から学んでいくからだ。繰り返しになるが、大人も学び続けている存在である。問題はだれから学ぶかである。

ついていくべき模範

●人は人から学ぶ。だからこそ神の御子(みこ)は最初のクリスマス、ユダヤの片隅で人として生まれ、イエスと名付けられ、人として生き、愛に生きる道を示された。人は人から学ぶ。だからこそイエスは受難において自己犠牲の究極の模範を十字架上で示し、復活において永遠の命が神からの賜物であることを示された。父なる神は天から「彼のいうことを聞きなさい。(マルコ9:7)」と人々に命令された。そしてこのイエスは私たちに言われる。

「わたしについて来なさい。…」マタイ4:19

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。」マタイ11:29

「わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渇くことはありません。」ヨハネ6:35

「わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」ヨハネ7:38

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。」ヨハネ14:6

「わたしに従いなさい。」ヨハネ21:19

●正真正銘の罪なき神の御子以外、だれが真顔でこれらのことが言えるだろうか。私たちのために命を惜しまなかったイエス以外、誰が「わたしに従いなさい。」などという権利があるだろうか。父母会の挨拶文で書き得なかったこと、私が言い足りなかったこと…それは実はこのイエスのことなのである。神は人類史の中心にイエスを送られた。そしてこの二千年、国境を越え人種を越え、人々がこのイエスに従って来たのは、世界中の人が、ついて行くべき後ろ姿を正にイエスのうちに見いだして来たからなのだ。「彼に信頼する者は、失望させられることはない。(ローマ10:11)」と聖書は約束している。あなたもこの約束を信じてついて行かないだろうか。■

※ 下記以外にも週の間、入門クラス、聖書の学び会が定期的に行われています。お問い合わせください。■ 予定が変更になることがありますのでご確認ください。

4月～8月の集会・行事予定

【定例集会】 ★ 日曜礼拝/10:00～11:30 グループ会/11:30～12:00 大人、子供それぞれのクラスに分かれます 【各種集会】 ★ グリニッチ 家庭集会 (場所は電話で) 原則第一金曜 10:00am	★ グリニッチ 聖書を読む会 金曜 10:00am (場所は電話でご確認ください) ★ スタンフォード 聖書を読む会 毎週水曜 1:00pm 場所: 井上宅 ★ ハリソン 聖書を読む会 隔週火曜 10:00am 場所: ハリソン長老教会 ★ マウントキスコ 聖書を読む会 毎週水曜 8:00pm 場所: 平野宅	★ ハートフォード 聖書を読む会 月三回水曜 9:30am テイラー宅 or 山田宅 月一回木曜 10:30am テイラー宅 or 山田宅 ★ ハリソン・メンズ・バイブル・フェローシップ 第1, 2, 4 木曜日 8:30pm 荒木宅
---	--	---

★ 6/12 (土) 「仏教とキリスト教の違いQ&A」松岡広和師 [\(プロフィール\)](#)
 ★ 6/13 (日) 「釈迦に学びキリストを説く」松岡広和師を迎えての聖日礼拝

- 6/28 (月)～7/1 (木) 東海岸子供キャンプ (教会合同小学生キャンプ)
- 7/5 (月)～7/9 (金) 東海岸ユースキャンプ (東海岸日本語教会合同中高生キャンプ) [\(ウェブページ\)](#)
- 7/25 (日)～8/6 (金) ディスカバリーキャンプ (SMJ主催小学生キャンプ) [\(申込書\)](#)

★ 8/24 (火)～8/27 (金) 午後1時～5時 2010年子供バイブルキャンプ (年中～小6)

★ハーベスト・タイム: <http://www.harvesttime.tv/> ★CGNTV インターネットTV放送 <http://japan.cgntv.net/>
 ★ BBN 聖書放送 <http://www.bbnradio.org/japanese/> ★英語で説教を聞きたいなら! <http://www.oneplace.com/>

《教会住所》グリニッチ福音キリスト教会 (Japanese Gospel Church of Greenwich)、牧師 立石尚志
 c/o St. Paul Ev. Lutheran Church, 286 Delavan Ave. Greenwich, CT 06830 website: www.jgclmi.com
 《問い合わせ》教会 TEL/FAX(203)531-6450、牧師宅 TEL/FAX (203)531-1609、e-mail: jgclmi@verizon.net

